

誓いの詞

暖かくやわらかな春の風が、まるで私たちの新生活に向けて背中を押してくれているかのようです。

本日は、私たち新入生のために、このような立派な入学式を挙げていただき、誠にありがとうございます。新入生を代表して心より御礼申し上げます。

私たち、新入生九十七名は、それぞれの想いを胸に、晴れて伝統ある芦北高校の一員となることができ、今、心から喜びを感じています。

高校生になると、制約が減り自分で決めていかなくてはならない場面が今までと比べて多くなると思います。それは自由度が増すとも言えるかもしれませんが、自由には責任が伴います。自分で考え、自分で決めるということをより一層大切にしていきたいと思います。また、芦北高校だからこそできる専門的な学びを思う存分に楽しみ、一つの正解を求めるだけでなく多角的に考える力を伸ばしていきたいです。

私は東京の中学校に在籍していましたが、全国各地の高校を視野に志望する高校を探し、そして、ここ芦北高校を選びました。おためし地域留学でお話しさせていただいた先輩方の雰囲気やプロジェクト学習が盛んな点にとっても魅力を感じたのが大きな決断の理由です。

ここにいる新生は皆、それぞれの想いを胸に門をくぐってきたと思います。緊張と不安でいっぱいの人、高校生活への期待で胸がわくわくと高鳴っている人もいるでしょう。これからを共に過ごし、互いに高め合える、そんな関係になっていきたいです。それぞれ異なる目標や希望をもっているからこそ、互いに刺激し合い成長していくことができると思います。私たちそれぞれのカラーを活かし、芦北高校に新しい風を吹かせてみせます。

結びになりますが、校長先生はじめ諸先生方、地域の皆様、温かいご指導をどうぞよろしく願いいたします。私たち新生一同は、芦北高校の伝統と歴史、地域の方々の思い、そして私たちを送り出してくださった中学校の先生方からの期待を背に、責任と誇りを持って高校生活を送ることを誓います。